

第32回 尾道市長旗争奪中学硬式野球大会競技要項

第1項 試合形式

- (1) 第1日目 8会場、各3チームに分かれて予選リーグ戦(勝点制)

決勝トーナメント戦進出は、勝ち点の多い上位4チームとする。尚、勝ち点が同じときの順位は、「①総失点 ②得失点 ③総得点 ④本部抽選」の順によって決定する。

※勝点は、4回迄にコールド勝利=5点・5回以降コールド勝利=4点
勝利=3点・引分=1点・敗退=0点 とする。

- 第2日目 ①準決勝・決勝戦(3位決定戦は行わない)

- ②予選敗退チームによる交流戦

- (2) 試合は7イニング制且つ時間制とする。試合開始後2時間を経過して新しいイニングには入らない。又、3回以降10点差、5回以降7点差をもってコールドゲームを採用する。(準決勝・決勝も同様) 又、全試合で熱中症対策として3回裏、5回裏終了時に休憩(各5分間)を挟むこととする。(時計は止めない)
- (3) 予選リーグ戦においては、7回終了、又は時間切れ同点のときは引き分けとする。
後攻チームがリードしている場合、裏の攻撃は実施しない事とし攻撃中に2時間を経過した場合は、当該打者の打席完了後に試合終了とする。
準決勝戦・決勝戦においては、7回終了、又は時間切れ同点のときは即タイブレーク(1死満塁、最長2回)を行い、さらに同点のときは最終出場選手18名による抽選で勝敗を決定する。(延長戦は行わない)
- (4) 投手の球数制限(リトルシニア版)を適用する。
投球確認シートは本部で準備することとする。(記録は自チームで行う)
- (5) 各球場のグラウンドルールは試合開始前に各会場の大会実行委員より説明を行う。
- (6) 第1日目に於いて、試合前のシートノックは行わない。(サイドノック可)
第2日目の準決勝戦前のみシートノックを行う。(7分間)
- (7) ベンチは組合せ表の左側が1塁側、ロージンは両チームで用意する。
ボールパーソンは両チーム2名とする。(原則ベンチ入り選手とする)
- (8) 試合終了後、30分以内で次試合を開始することとする。

第2項 運営形式

- (1) 審判について、第1日目は、各チームに審判等(自チーム試合)をお願いします。

組合せ表内、チーム名表示をご確認ください。

縦 ⇒ 球審・2塁塁審、B S O

横 ⇒ 1・3塁塁審、スコアボード

※B S Oとスコアボードが一体となっている会場は『横』が操作することとする。

第2日目(準決勝・決勝)の審判等は主催者が行います。

※交流戦の審判等は、対戦チーム同士で協議の上、お願いします。

- (2) アナウンスは各チーム(自チーム試合)で行ってください。

- (3) 審判へのお茶出しは各チーム(自チーム試合)で行ってください。